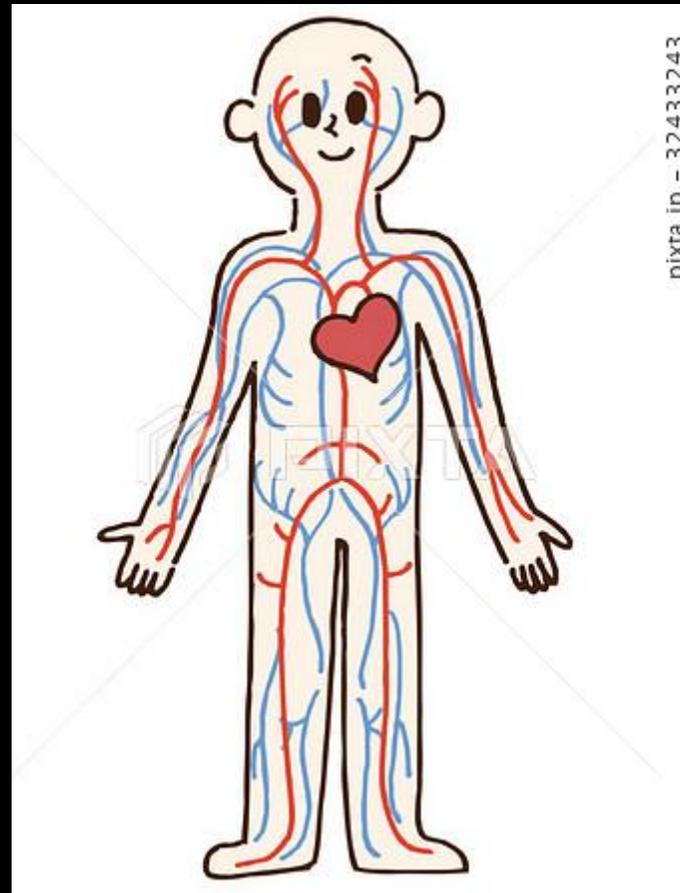
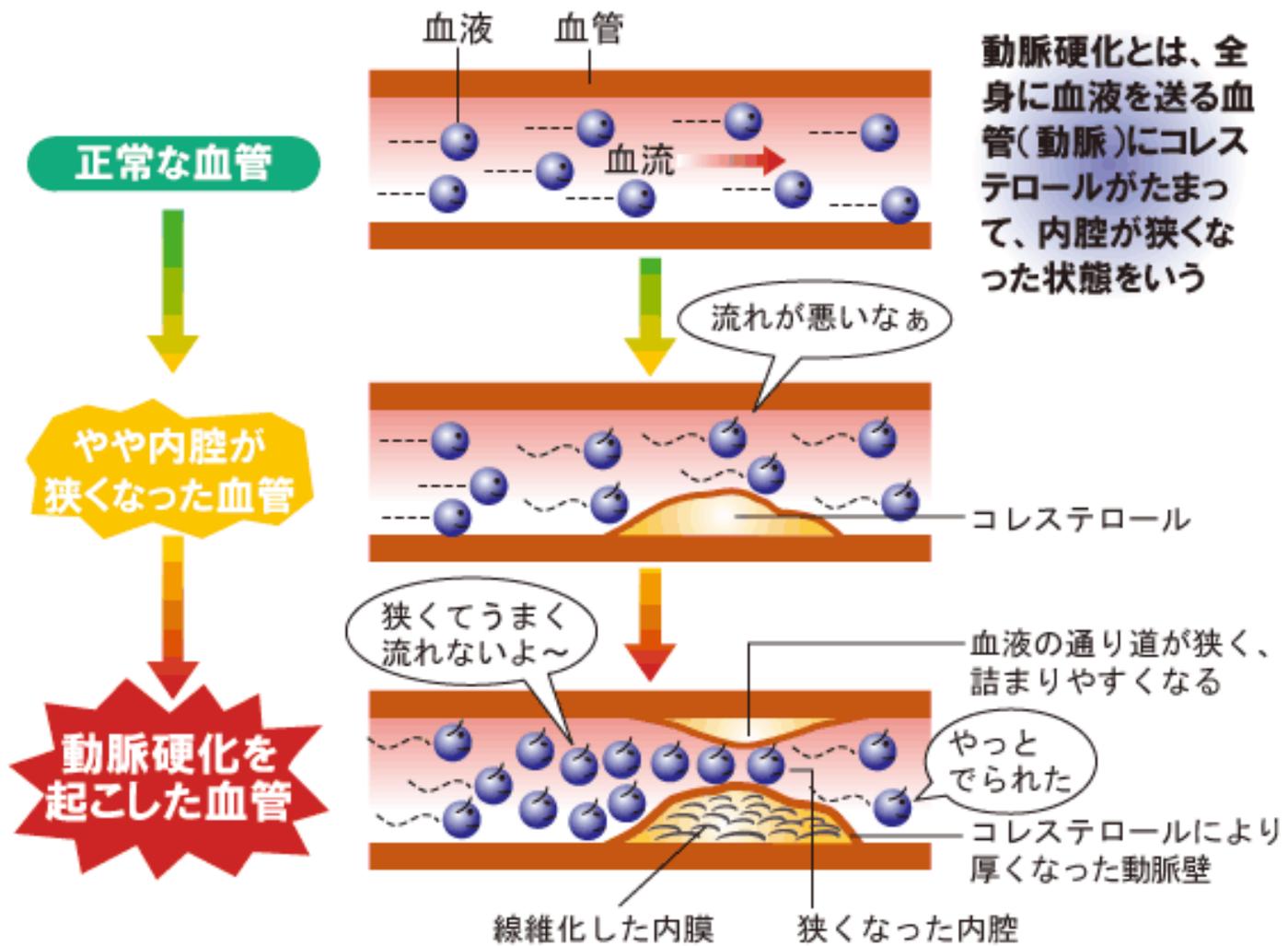


脂質異常症・動脈硬化とは

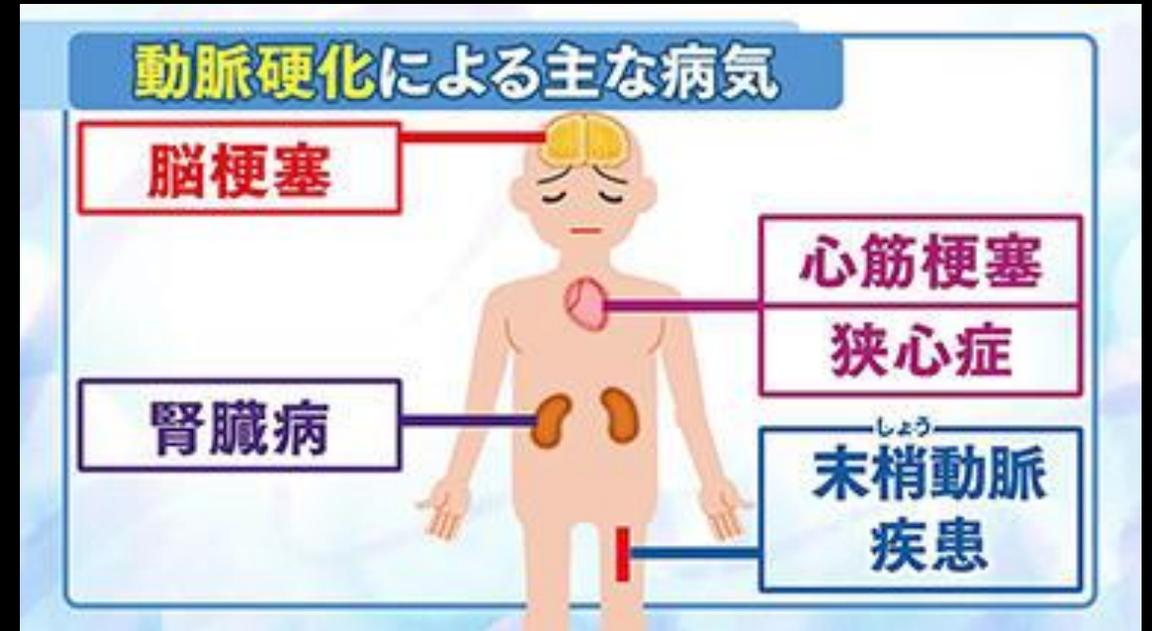
動脈とは：心臓から血液を送りだす管のこと
静脈とは：心臓に戻ってくる血管のこと



脂質異常症が進行すると動脈硬化に



動脈硬化が進行すると



脂質異常症の診断基準

脂質異常症の診断基準

指標	基準値	診断
LDLコレステロール	140mg/dL以上	高LDLコレステロール血症
	120～139mg/dL	境界型高LDLコレステロール血症
HDLコレステロール	40mg/dL未満	低HDLコレステロール血症
トリグリセリド*	150mg/dL以上	高トリグリセリド血症
NonHDL コレステロール	170mg/dL以上	高nonHDLコレステロール血症
	150～169mg/dL	境界型高nonHDLコレステロール血症

*このいずれかに該当すると**脂質異常症**と診断

脂質異常症とは①



血液中のコレステロールや中性脂肪が増えすぎると、動脈硬化が進行します。ただ、コレステロールは私達には必要です。

コレステロールは、血液によって全身に運ばれています。そのときコレステロールはLDLという粒子の形になります。しかし、LDLは増えすぎると血管壁に入り込んで動脈硬化を起こします。そのためLDLは悪玉と呼ばれます。

反対に、余ったコレステロールはHDLという粒子の形で回収されます。このとき血管壁にたまったコレステロールも抜き取られます。そのためHDLは善玉と呼ばれています。

動脈硬化とは②



中性脂肪は、コレステロールとは別の物質ですが、悪玉LDLの味方、善玉HDLの敵として働きます。

中性脂肪が増えると、悪玉LDLは小型化して血管壁に入り込みやすくなります。小型のLDLは通常のLDLよりも酸化されやすいので超悪玉と呼ばれます。

中性脂肪の増加によって善玉HDLのコレステロールは量が減り、中性脂肪もまた動脈硬化を悪化させていきます。

動脈硬化とは③



non-HDLコレステロールは“総悪玉”とも言えます。LDLコレステロールとは別の悪玉が存在し、その別の悪玉を含めた全ての悪玉の量を表すのが、non-HDLコレステロールの値です。

LDLコレステロール以外の悪玉は少量ですが、別の悪玉は中性脂肪と一緒にあって血液中に存在し中性脂肪が高くなります。そのため中性脂肪が高い人は、LDLコレステロールだけではなく、non-HDLコレステロールもチェックすることが望ましいです。

LDLコレステロールは空腹時に採血しないと正確な値が出ない場合がありますが、non-HDLコレステロールは空腹時など関係なく結果が出ることも利点です。

動脈硬化はサイレントキラー

静かなる殺し屋(サイレント・キラー)



動脈硬化そのものには自覚症状がない

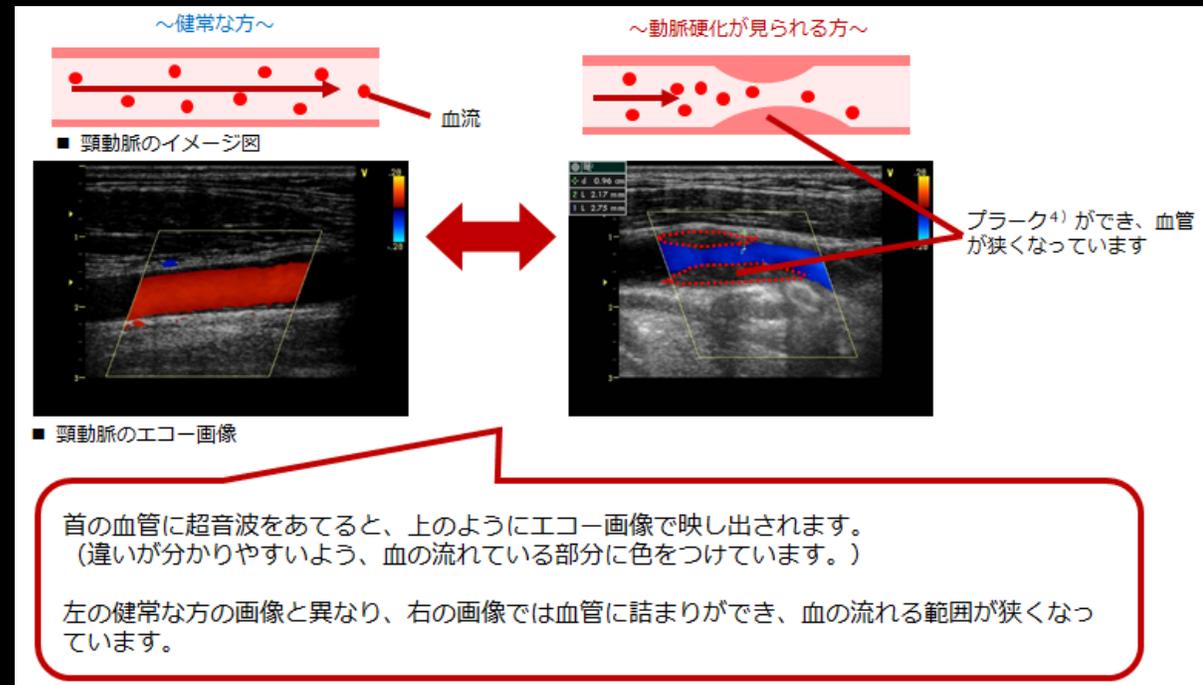
ある日突然、心筋梗塞や脳梗塞を起こして初めて動脈硬化に気づくことも

動脈硬化検査には主に2種類あります

- 頸動脈エコー

- ABI・PWV

頸動脈エコー（頸動脈超音波）



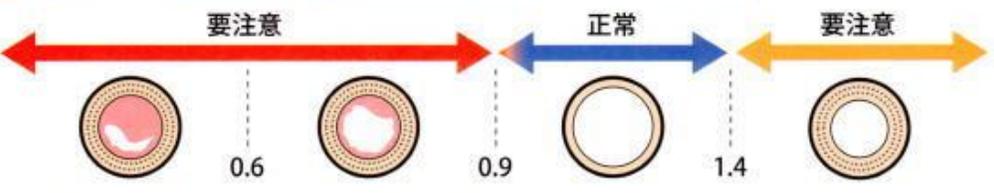
超音波とは、ヒトの耳には聞こえないほどの周波数の高い音のことで、その音の反射を利用して体内の状態を観察します。
人体に影響なく安全な検査です。
全身の動脈硬化を評価できます。
動脈硬化で厚くなった血管壁の様子が確認できます。

15-20分、保険点数550点

ABI・PWV

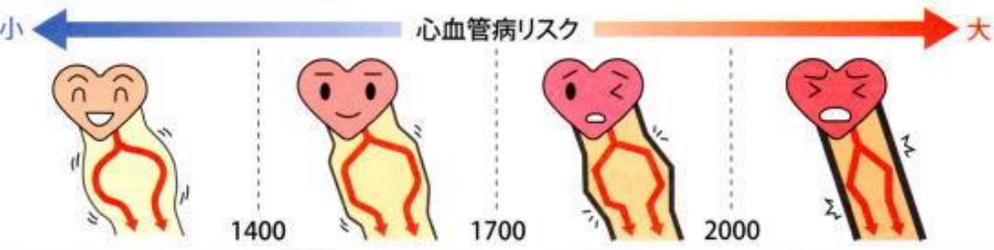
ABI検査 (足関節/上腕血圧比)

ABI値が低いほど、足の動脈の狭窄の可能性が高くなります。また、心臓や脳といった他の臓器障害の併発リスクも大きくなります。ABI値が高値(1.4以上)の場合、血管の中膜石灰化が疑われます。



baPWV検査 (脈波伝播速度)

しなやかな血管は第2の心臓としての役割を果たしています。baPWV値が高い(脈波伝播速度が速い)ほど、血管や臓器への負担が増すため、心血管病のリスクは大きくなります。



- ABI
足首と上腕の血圧を測定します。
動脈の狭窄や閉塞の有無を確認するとともに、血管の硬さがわかります。
- PWV
心臓から送り出された血液により生じた拍動(脈波)が手足に伝わる速度から、動脈硬化の程度を推定します。
- 5-10分、130点

動脈硬化検査

あなたの血管年齢 **61** (実年齢 61)

測定結果
右 左
血圧 mmHg 151/96 146/90
左腕 196/175
右腕 92/92
脈波伝播速度 (PWV) cm/s 1515 1529
ABI 1.30 1.16
脈波伝播速度 (baPWV) cm/s 1515 1529

ガイドライン基準値
低リスク (baPWV) cm/s 1400 | 中リスク 1800 | 高リスク

53歳平均

1 血管がやわらかい
2 脈波伝播速度 1529 cm/s (血管がやや硬い)
3 血管が硬い
4 血管がやや狭い
5 血管が狭い
6 血管の壁が石灰化

動脈硬化が進行する血管イメージ

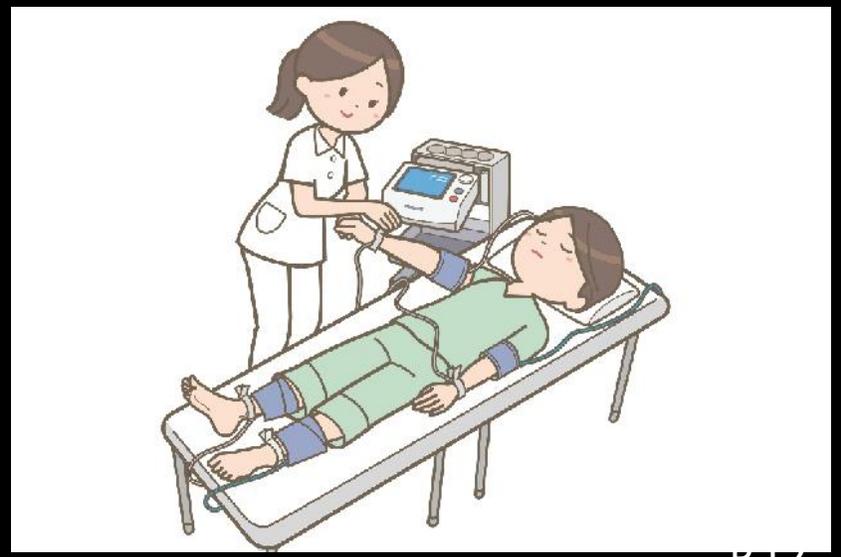
動脈硬化の原因
 ストレス 喫煙 肥満症 高血圧症
 運動不足 塩分のとりすぎ 糖尿病 脂質異常
 加齢 栄養過多

生活習慣病

プラーク

動脈硬化症が進むとこうなる!
 脳梗塞 認知症
 心筋梗塞 心不全
 腎臓 人工透析
 閉塞性動脈硬化症 足の壊死

やまもと内科クリニック
測定日時
次回



脂質異常症は、自覚症状がないものです。

採血検査や超音波・脈波検査を行っていき、
脳梗塞や心筋梗塞が発症するのを予防して
いきましょう。